



伝えよう、和食文化を。

一般社団法人和食文化国民会議
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-13-2 4階B
Tel 03-5817-4915 Fax 03-5817-4916
<https://washokujapan.jp>

2026年度「だしで味わう和食の日」企画実施協力をお願い

平素より、私ども一般社団法人和食文化国民会議（略称：和食会議）の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。厚く御礼申しあげます。

和食会議は、ユネスコに無形文化遺産として登録された和食文化の保護・継承に責任を持つ唯一の民間団体として、和食文化を次世代へ継承するため、農林水産省をはじめ関係各省庁と連携しながら、その価値を国民全体で共有する活動を展開しています。その活動の大きな柱として、私どもが制定し、全国的に定着しつつある11月24日「和食の日」を中心に、子どもたちに和食文化に触れる機会を提供する「だしで味わう和食の日」という食育の企画を、2015年より全国の小・中学校、保育所等を対象として実施してまいりました。規模は年々拡大し、11年目となりました昨年は過去最多、全国で**17,503ヶ所**、約**448万人**を超える子どもたちに参加いただくことができました。本年も、この運動をさらに大きくするため、文部科学省、厚生労働省、農林水産省の後援をいただきながら全国の都道府県、市区町村の教育委員会、子育て支援課等の保育所ご担当部署を対象に企画の周知、協力要請活動を開始いたしました。

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて10年以上が経ちますが、核家族化や生活環境の変化により、家庭において伝統的な和食文化を伝えることが非常に難しくなっている状況にあって、学校等の給食の果たす役割は非常に大きくなっています。幼少期は食の大切さを学ぶ上でも、また味覚形成の上でも大変重要な時期です。この時期に本物の「だし」の「うま味」を体感することは、幼い頃の記憶として鮮明に残り、和食文化に興味を持つきっかけにもなります。

具体的な内容については、パンフレット及び資料サンプルをご覧ください。当団体のホームページ <https://washokujapan.jp/dashi-document/> にも掲載しております。参加方法は複数用意し、よりご参加いただきやすい方法を選択できるようにしております。自治体や給食センター毎に複数お取りまとめの上でお申し込みいただいた場合は、カラー印刷した子ども用兼保護者用資料やポスターを必要枚数ご指定の場所に一括配送させていただきます。また、当法人が提供する「和食の日」のロゴやイラスト、テキストなどを、給食だよりなどに活用、配布して参加する方法もございます。前述のホームページに掲載している取りまとめ申し込みフォームをダウンロードの上、必要事項を入力いただきメールでお申し込みください。

和食会議では今後もこのような機会を毎年、継続的に作ってまいります。趣旨をお汲み取りいただき、「だしで味わう和食の日」企画の実施に向け、ご協力賜りますようよろしくお願い申しあげます。

2026年6月

一般社団法人和食文化国民会議
会長 伏木 亨